

リン酸, マンガン過剰によるワケギの葉先枯れ症

大気汚染（オキシダント）や養分欠乏等で、発生します。ここでは、無機成分の過剰での発生例を紹介します。



リン酸(P) 過剰

葉先が黄色く枯れる症状は、リン酸過剰による場合が多く、土壌の可給態リン酸含量が 50mg/100g 以上で発生がみられます。リン酸施用は控えましょう。



マンガン(Mn) 過剰

葉の中程からすじ状にしろ抜けする症状はマンガン過剰によって発生します。この症状は、土壌の pH が 6 以下で発生しやすいので、炭カル等で pH6.5 まで矯正しましょう。

葉先枯れ発症ほ場の作土の化学性(現地)

	可給態P ₂ O ₅ (mg/100g)	交換性Mn (mg/kg)	pH (H ₂ O)	EC(1:5) (mS/cm)	CEC (meq/100g)	交換性塩基(mg/100g)			
						CaO	MgO	K ₂ O	Na ₂ O
P過剰	392	3.3	7.0	0.09	8.4	278	29.1	23.9	6.3
Mn過剰	334	16.1	5.2	0.83	15.8	231	71.8	141.7	1.0